

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2022年

SPRING 春

第205号

3年ぶりに行われた白石市消防団春季消防演習



2～3P 2月定例会の概要・審議した議案
4～6P 予算審査特別委員会
6～7P 討論・議案の賛否一覧・特別委員会報告

8～11P 市政に対する一般質問(7名)
12P 議員提案・議会の活動状況・編集後記



市長の提案理由説明

交通条件などに恵まれない山間地の利便性向上や地域活性化を図るため、公共施設を総合的、計画的に整備

◎辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

条例等

審議した議案の主なものは次のとおりです。

審議した議案の主なものは、ため計画を策定するもの、辺地対策事業債を活用し、市道不交線および三住地区市道白萩線の整備を盛り込む計画であることから、法律に基づき議会の議決を求めるものです。



2月定例会 令和4年度一般会計当初予算 147億2千25万円を可決

令和4年2月定例会は、2月17日から3月8日までの20日間の日程で開催されました。市長提出議案は、専決2件、条例等10件、予算12件の計24件でした。定例会初日、市長の施政方針を受け、その後、すべての議案の提案理由の説明が行われ、このうち第1号議案および第2号議案は質疑の後、採決の結果、全会一致で承認しました。2日目、第3号議案から第24号議案までの質疑が行われ、予算の12議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。一般質問は、3月3日・4日の2日間で、7名の議員が質問を行いました。定例会最終日(3月8日)の本会議において、委員長報告を行なった後、第19号議案については、反対および賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。また最終日に、市長提出議案3件(第25号議案から第27号議案)が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。同日、議員提出議案1件(議提第1号)が上程され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

2月定例会で審議した議案

Table with 4 columns: 議案番号 (Proposal No.), 件名 (Subject), 審議結果 (Deliberation Result), and 審議結果 (Deliberation Result). It lists 20 proposals, including budget amendments and ordinance changes, with their respective outcomes like '承認' (Approval) or '原案可決' (Original proposal approved).

◎白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

法律の一部改正に伴い、令和4年度分の国民健康保険税より、世帯主に対して賦課する被保険者均等割額のうち、未就学児に相当する分の10分の5を減額する措置が講じられたことから、条例の一部を改正するものです。

◎白石市消防団員に関する条例の一部を改正する条例

少子高齢化および人口減少により団員数が減少していることから、団員の定数や年額報酬などの処遇改善のため、条例の一部を改正するものです。

◎白石市グラウンド・ゴルフ場条例

生涯スポーツを通じた市民の健康維持増進と地域活性化を図ることを目的に、大鷹沢大町字若林地内に整備しているグラウンド・ゴルフ場の設置および管理に関する条例を制定するものです。

予 算

◎令和3年度白石市一般会計補正予算(第11号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億6千84万1千円を増額し、予算総額を190億3千470万3千円とするものです。

◎令和4年度白石市一般会計予算

予算総額は、147億2千25万円で、前年度と比較すると1.5%の増となります。

主な内容は次のとおりです。

○まちづくり推進事業

(人と地域が輝く未来共創交付金、地域づくり支援事業)

317万2千円

○DX推進事業

1千71万8千円

○子育て支援事業

214万8千円

○壽丸屋敷改修事業

1千500万円

○スマートインターチェンジ及び周辺施設整備事業

1億227万3千円

○未来を拓く学校教育充実事業

3千137万1千円

○学校教育・保育審議会事業

148万円

本会議質疑より

◎辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

【質疑】今回の市道整備の内容を伺う。

【答弁】キツネ村バス停付近から七ヶ宿町方面に向かう主要地方道を結ぶ市道不連続で、舗装の打ち替え工事を行う計画である。

一部拡幅などの要望もあるため、今後、地元自治会などと現地を確認しながら進めていく予定である。

◎令和4年度白石市一般会計予算

【質疑】どのようなことを意識して予算編成を行なったのか、

第21号	令和4年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
第22号	令和4年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第23号	令和4年度白石市水道事業会計予算	原案可決
第24号	令和4年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
第25号	白石市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取り消しについて	原案可決
第26号	令和3年度白石市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
第27号	令和4年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議	原案可決

市長の思いを伺う。

【答弁】令和3年度と比較する。済の確立を推進できるような、全と、新型コロナウィルスワクチン接種事業、白石市外二町組合、令和4年度の当初予算編成負担金・出資金等、中河原白石において、その事業が本当に沖線街路事業などの増加により、必要な事業なのか、その根拠や、2億1千906万6千円、1.5%効果も含め、さまざまな角度から考えて編成をしたものである。

令和4年度は第六次白石市総合計画の2年目となり、引き

続き「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」という将来像の実現

のため、市政課題に積極果敢にチャレンジするとともに、新型コロナウィルス感染症対策を円滑に進め、ウィズコロナ、アフタ

予算審査特別委員会

第13号議案・令和3年度白石市一般会計補正予算(第11号)から第24号議案・令和4年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。同委員会(委員長・平間知一、副委員長・大森貴之)は、2月25日および28日の2日間にわたり審査を行いました。

その結果、第19号議案・令和4年度白石市一般会計予算については反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和3年度白石市一般会計補正予算(第11号)

総務費

〔質疑〕スパッシュランドしろい

しと白石城の運営継続助成金を計上しているが、新型コロナウイルス感染症などの影響で、どのくらい入館者が減ったのか伺う。

〔答弁〕スパッシュランドしろいでは、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、令和3年2月の

福島県沖地震で破損した、50メートルプール天井の応急復旧工事などにより、7月までプールが使用できなかったことから、利用料などによる収入が大きく減少した。

新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった、過去3年間入館者数の平均は、スパッシュランドしろいで4万7千613人

であるのに対し、令和3年度は2万7千人程度、白石城においては、平均9万3千26人に

〔質疑〕森林経営管理推進事業について、本市における山林の経営管理状況を伺う。

〔答弁〕令和3年度の森林所有者に対する調査では、「所有者の山林の場所や地番、面積を把握しているか。」との問いに、約6割が「知っている」「おおむね知っている」と回答、また、6割弱が「管理を行っていない」という結果であった。

また、「今後、法に基づき市に管理を委託したいか」との問いには、約4割弱が「お願いしたい」と回答している。

本市としては、森林経営管理に基づき、採算の取れる山林については、公募によって希望した民間の林業経営体に整備を委ね、経営に適さない森林については、所有者に代わり、市町村が間伐などを実施し、森林保全を行なっていく必要があると考える。

今後、調査を踏まえた上で、方針を決定していきたいと考える。

農林水産業費

◎令和4年度白石市一般会計予算

総務費

〔質疑〕地域おこし協力隊推進事業について、隊員を7人配置することだが、どのようなところに力を入れていく考えか伺う。

〔答弁〕令和4年度は、移住交流分野に隊員1人を予定し、現在、移住交流サポートセンター109-one(トークワン)でコーディネーターが中心に行なっている移住交流に関する相談業務を、地域おこし協力隊員との3人体制で行う。

また、関係人口の拡大分野に隊員4人を予定しており、東京や仙台などの首都圏などから、本市の施設を利用し滞在した方が、仕事をしながらバケーションを行う「ワーケーション」に力を入れていく。

観光振興分野では、今年度も2人の隊員が白石城での甲冑体験などを実施しているが、白石城が工事期間に入ること

から、工事期間中、どのような方向で行なっていくのか検討しながら、工事期間後もコロナ後を見据え、関係人口、交流人口の拡大につなげていきたいと考える。

〔質疑〕国際交流事業について、コロナ禍の中、どのような取り組みを考えているか伺う。

〔答弁〕令和3年度はインターネットを活用し、市内の中学校4校と、オーストラリアのカウラの学校が交流を行なった。

カウラの学校とウェブでつなぎ、互いに地域の紹介をしたり、クイズ形式でそれぞれの地域が分かるような取り組みを実施したが、参加した生徒、担当の先生からは、ある程度の評価をいただいている。

残念ながら、訪問ができない状況が続いているが、子どもたちにとっての国際交流が振興できるよう、さまざまな方策で実施している状況である。

民生費

〔質疑〕子育て支援サービス利用助成金として、159万3千円を計上しているが、事業の概要について伺う。

〔答弁〕保育園や幼稚園の一時預かり事業や、ファミリーサポートセンター事業を利用する児童の利用料金について、宮城県少子化対策市町村交付金を活用し、子ども一人当たり年間1万5千円を上限に助成するものである。

上限を設定したのは、市の子育て支援サービスを、多くの方に利用していただくためである。

〔質疑〕橋梁長寿命化対策事業について、詳細を伺う。

〔答弁〕国の道路更新防災等対策事業費補助金を活用した道路のインフラ整備、特に橋梁の修繕を行う事業で、令和4年度は、橋梁点検において早期に予

防保全の必要があると判定された、沢端町地内および大鷹沢三沢地内の計2橋の詳細設計と修繕工事などを予定している。

教育費

〔質疑〕学力向上プロジェクトの成果と、公立学校情報化ラッキングでの成績について伺う。

〔答弁〕令和3年12月に行なった学力調査では、教育改革をスタートさせた令和元年度からの推移を見ると、小学2年生以上の全ての学年で、全国平均との差が改善傾向にあるという結果となった。

また、学力が身についたこと、の目安である達成率についても3年連続で向上、V字回復を見せている学年など、非常に多くの学年で改善傾向が見られる結果となった。

公立学校の情報化については、日経BPPが文部科学省の調査を独自に分析した結果、本市の小学校において東北で第1位、中学校においては第12位と

令和4年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出		予 算 額	構 成 比
款 別			
1. 議 会 費		164,990	1.12
2. 総 務 費		2,352,888	15.98
3. 民 生 費		5,226,589	35.51
4. 衛 生 費		1,914,606	13.01
5. 労 働 費		1,617	0.01
6. 農 林 水 産 業 費		332,351	2.26
7. 商 工 費		418,850	2.84
8. 土 木 費		1,362,864	9.26
9. 消 防 費		503,931	3.42
10. 教 育 費		1,196,127	8.13
11. 災 害 復 旧 費		2,991	0.02
12. 公 債 費		1,227,087	8.34
13. 予 備 費		15,359	0.10
合 計		14,720,250	

令和4年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別	令和4年度 予 算 額	令和3年度 予 算 額	令和3年度 当初予算比	
一 般 会 計	14,720,250	14,501,184	1.5	
特 別 会 計	8,231,871	8,022,064	2.6	
会 計 内 訳	国民健康保険	3,785,568	3,677,640	2.9
	介護保険	3,983,048	3,933,659	1.3
	後期高齢者医療	463,255	410,765	12.8
合 計	22,952,121	22,523,248	1.9	

企業会計

水道事業会計	1,145,042	1,153,316	△ 0.7
下水道事業会計	1,821,954	1,845,429	△ 1.3

※企業会計については収益的支出+資本的支出額

土木費

いう結果となった。
現場の頑張りがこのような結果となったことから、さらに学校の支援、後押しをしていきたいと考える。

〔質疑〕昨年10月の電子図書館導入による効果について、どのように分析しているか伺う。

〔答弁〕令和3年10月から令和4年1月までの貸出数は、延べ1千893冊、一日当たり18.3冊、ログイン数は2千344件、一日当たり22.5件となっている。効果については、これまで図書館を利用する予定のなかった方が、電子図書館利用のため、利用者カードの新規登録に際して、GIGAスクール構想により、一人1台のタブレットが小中学校に配備されたことを受け、学校との連携協力によ

◎令和4年度白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕国民健康保険の税収が減少する中、医療費が増加している。

いずれは税収を上げるため、保険税の増額も検討しなければならなくなるのではないかと考えを伺う。

〔答弁〕本市では平成21年度以降、保険税率を上げる改正は行なっていない。

しかし、被保険者の高齢化と、加入者の減少傾向が続く中、このままの税率では歳入不足は避けられないと考える。

財政調整基金の残高減少に伴い、税率改正が必要となる時期が来るが、その時期や改正内容などについては慎重に検討していく。

また、宮城県の国民健康保険運営方針では、将来的に県内の保険料率水準の統一を目指すこととしており、これには課題も多いことから、統一に向けた議論や環境整備について、県との協議を継続していく。

◎令和4年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕広域水道用水供給事業からの受水については、日量5千600トンが必要とのことだが、自己水源の水量を100%使った場合でもこのくらい必要になるのか。

〔答弁〕県との覚書で、前年度と同じ数量としているが、受水費について、基本料金、使用料金を予定水量から算出すると、約168万4千立方メートルを購入する必要があり、総配水量から見ても、二ツ森、三住からの自己水源だけでは賄えないところである。

討 論

予算審査特別委員会(2月28日)および定例会最終日(3月8日)において、第19号議案に対する討論が行われました。

定例会最終日に行われた討論の主な内容は、次のとおりです。

◎第19号議案・令和4年度白石市一般会計予算

反対 伊藤 勝美

新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、それらに対するさまざまな支援策を予算案に傾注されていることは理解する。

また、感染症収束の見通しのない状況において予算編成に当たり、感染症の影響を最小限に食い止めるべく、ワクチン接種事業に対する積極的な推進など、市の取り組みについても評価する。

しかし、市民の安心・安全の実現に不可欠である、公立刈田総合病院に関わることに付いて指摘をしたい。

令和4年度当初予算における公立刈田総合病院の繰出金は、白石市で9億円、1市2町で10億3千800万円とされている。このことは、平成30年度から一挙に繰出金を激減させ、医業収入も上げられず、病院経営は借入れを余儀なくさせてきた、公設民営

化推進手法のツケが回ってきたと言えるのではないかと。また、1月に開催した公立刈田総合病院に係る住民説明会の資料に「令和4年度構成団体繰出金額は、19億7千万円」と記載されているが、この予算では到底賄い切れないというのをあえて表明したにすぎない。

公立刈田総合病院の現在に目を向ければ、短期間の経過の進展に、衰退とも思われる姿をさらけ出し、病院機能不全との声もささやかれるに至る。このような現状に至った原因は、本市からの過年度における繰出金の減額と、合議体としての白石市外二町組合における正副管理者の合意がないままに、指定管理者制度導入による公設民営化を目指したことが誘因ではないかと推察される。

令和4年度の当初予算については、スマートインターチェンジ周辺整備事業に係る費用など、多くの課題はあっても、今、一番重要で、市民が期待するものは、白石市としてどれくらい刈田病院関連予

算を計上し、いかに公立刈田総合病院を再生するかにかかっているのではないだろうか。

確かに、公立刈田総合病院の当初予算においては、前年より改善された予算づけがされているが、果たしてこれでいいのか疑問と言わざるを得ない。

以上の理由から、第19号議案に反対である。

賛成 菊地 忠久

令和4年度一般会計予算は、目の前の課題に対応しながら、ウィズコロナ、アフターコロナといった新たな将来像や、10年先、20年先を見据えたバランスに配慮した予算案となっている。

これまで取り組んできた教育改革は第2ステージを目指し、地方教育アドバイザーの派遣や英語特区など、学力向上プロジェクトの推進および教育DXの推進が図られ、さらに学びの機会の保障のため、教育相談支援事業の推進が図られた予算となっている。

出生数の急激な減少に対応するため、学校教育、保育審議会を設置し、これからの教育、保育の在り方を総合的に検討していくとしている。また、DX推進事業が予算計上されており、限られた予算や人材の中で、多様化、高度化する住民ニーズに因應するため、行政のDX推進は必須事項になっている。

第六次白石市総合計画での住民主体の地域づくりを目指し、「人と地域が輝く未来共創交付金」の新設や、地域づくり支援事業を通じ、各地区のまちづくり宣言の実現が見込めるものとなっている。

(仮称)白石中央スマートインターチェンジとその周辺整備事業では、国や県の支援、補助メニュー、民間のノウハウや効率性を最大限に活用し、雇用増、税収増、地域経済活性化の好循環や市民の健康増進が図られることを望む。

現在、最重要かつ喫緊の課題である、公立刈田総合病院の経営健全化については、新年度、白石市外二町組合において、10億3千800万円の補助金、出資金

等がすぐにも必要であることから、本来、当初予算では90%を繰り出し、残りの10%を9月補正予算に計上するところ、令和4年度当初予算において、100%である9億円を計上し、繰り出しを行う予定としている。

仮にこの予算案が承認されなければ、本市から白石市外二町組合への繰り出しができなくなり、国のコロナ減収補てん債が入金されない限り、組合は間違いなく4月中に資金ショートを起こし、今度こそ経営破綻が現実となってしまう。

本予算案に反対することは、すなわち確実に公立刈田総合病院を経営破綻に導くことにはかならない。

公立刈田総合病院の問題以外にも、本市が取り組むべき課題は山積しており、限られた財源の中、持続可能な白石市であるために、課題を先送りすることなく、積極果敢にチャレンジしていかねばならない。本予算案には、その意気込みと効果が期待できるものとなっている。

以上の理由から、第19号議案に賛成である。

第454回 市議会定例会予算審査特別委員会（2月28日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 純斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第19号議案 令和4年度白石市一般会計予算	原案可決		×	×	×	○	△	×	×	△	委	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した委員、「×」⇒反対した委員、「欠」⇒欠席した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない
 ※予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成される

第454回 市議会定例会（3月8日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 純斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第19号議案 令和4年度白石市一般会計予算	原案可決		×	×	×	○	△	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

**スマートインターチェンジ設置
推進特別委員会中間報告**

令和4年2月10日、(仮称)白石中央スマートインターチェンジ整備および周辺整備の進捗状況について、関係部課長から説明を受け、今後の進め方について協議を行なった。

説明後、多数の質疑応答があり、(仮称)白石中央工業団地の整備については、市の財政負担を最小限にするとともに、可能な限り耕作し続けられる環境を進めていくこと、スポーツレクリエーション拠点と道の駅、道路に関する部分は市が買収し、整備していくことなど、整備内容の詳細等について把握することができた。

調査や設計、工事等が着々と進んでいるものとの共通認識を持ち、スマートインターチェンジの早期完成と周辺整備のさらなる充実を目指し、今後も地元住民、関係機関との調整を行なっていく。

市政に対する一般質問

〓〓7名の議員が質問〓〓

2月定例会の一般質問は、3月3日・4日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

松野 久郎 令和4年度施政方針について

高子 秀明 令和4年度施政方針について

大森 貴之 新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応について

菊地 忠久 部活動について

佐藤 龍彦 子どもの貧困について

佐藤 秀行 子育て支援事業について

四竈 英夫 交通安全について

他 他 他 他

令和4年度施政方針について

松野 久郎



〔質問〕令和4年度に市が最も力を入れる取り組みは何か伺う。

〔答弁〕〔市長〕人口減少、少子高齢化対策、移住定住の促進に加え、交流人口や関係人口の拡大、公立刈田綜合病院の経営健全化が最重要課題であると考えます。

〔質問〕不登校特例校の早期開校に向けた準備状況について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕教育機会確保法により、自治体等は整備に努めるとされています。

本市の不登校児童生徒の実態に応じた教育課程の編成や、特色ある教育活動について検討し、国の指導を受けながら準備を進めていきます。

いと考える。

〔質問〕まちづくり宣言の実現に向けた支援について、考えを伺う。

〔答弁〕〔市長〕各地区の悩みや不安に寄り添い、中間支援組織の力添えを得ながら地域の取り組みに伴走し、共にまちづくり宣言の実現を目指していきたいと考えます。

〔質問〕公立刈田綜合病院の経営健全化と、救急医療体制を含む充実した医療の健全化が急務であるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕経営健全化と充実した医療の健全化は、仙南医療圏にとっても急務である。

地域医療に「日の空白も生じさせることが無いよう取り組んでいく。

〔質問〕(仮称)白石中央スマートインターチェ

ンジ周辺に、防災機能を備えた「道の駅」などを整備することについて、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕避難所としてのスペースを確保しつつ、指定避難所への支援ができる施設を整備したいと考えている。

国道4号との直結により、広域防災にも寄与できるものと考えます。

〔質問〕令和32年までに、ゼロカーボンシティを目指す必要があるなら、山の荒廃による環境悪化、自然災害の抑止や、市財政への補助にも期待できる、農山漁村再生可能エネルギー法を導入すべきと思うが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕第三次白石市地球温暖化対策実行計画が、令和5年度に見直す時期となることから、農山漁村再生可能エネルギー法の基本計画に規定する内容とするについても検討する。

令和4年度施政方針について

高子 秀明



〔質問〕子ども医療費助成事業について、「高校卒業の年齢までに拡大してほしい」との市民の声が多く聞かれるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】本市では既に、18歳を新たな基準と考え、令和3年度で事業費約2千200万円程度を見込み、財源確保の検討を行なってきた。

しかし、12月定例会で示した公立刈田総合病院への追加資金2億6千10万円の支出により、子ども医療費拡充分10年以上の経費を支出することとなったことから、政策実現が難しくなっている。

〔質問〕公立刈田総合病院の「公設民営化」を進める姿勢により、蔵王町・七ヶ宿町の両町長との信頼関係が大きく揺らいでいるのではないかと危惧される。

今後、両町長との信頼関係をどのように再構築していくのか伺う。

〔答弁〕【市長】両町長とは公立刈田総合病院存続のための政策について、現時点で一致していない。それぞれの立場で考えを持っており、本市の考えを理解いただくために、現在も協議を継続している。

信頼関係が大きく揺らいでいるという認識はない。

〔質問〕白石第一小学校防球ネット支柱折損死傷事故で、宮城県警と白石警察署は、業務上

過失致死傷の疑いで、校長と主幹教諭に起訴を求める嚴重処分の見をつけたと見られる「書類送検」がされたことについて、市長と教育長の見解を伺う。

〔答弁〕【市長】真摯に受け止めている。

このような事故を二度と起こさないよう、教育委員会とともに、再発防止策の実施に全力で取り組んでいく。

〔答弁〕【教育長】大変厳粛に受け止めている。事故以前、適切に点検等は行なってきたと認識していたが、不十分であったと認識せざるを得ない。

二度とこのような学事故を起こさないために、事故調査委員会の答申に基づき、再発防止策実施に全力で取り組んでいるところである。

今後、検察が法に照らし、しかるべき判断をするものと考ええる。

新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応について

大森 貴之



〔質問〕本市における感染者の情報については、保健所からの連絡によるものとのことだが、詳細について伺う。

〔答弁〕【健康推進課長】仙南保健所より一日一回、年代、性別、職業、感染経路判明の有無、症状の有無について報告がある。

〔質問〕情報は三元的に県が押さえており、本市としては、細かいところは押さえていないという認識でいいのか。

〔答弁〕【健康推進課長】感染者の情報は県が全て管理しており、市町村へは来ていない。

〔質問〕厚生労働省の通知では、一県は自宅療養

者などに対する生活支援に当たっては、必要に応じて市町村と連携するよう努めなければならない」とされている。

本市も本来は、県と協力して行うべきと思うが、見解を伺う。

〔答弁〕【健康推進課長】現時点で県や保健所からは、連携の協議は出ていない。

新型コロナウイルス感染症への対応は、県と市町村で役割を分けて行なっているところであり、本市においては最重要課題であるワクチン接種を、市民が安心して受けられるよう進めていくことであると考えている。

〔質問〕実際に県の業務に対処するというのはなく、データだけでも市で押さえておくべ

きと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】県からは「法律上、都道府県の役割であるから、情報を伝えることはできない」と言われている。

再三、照会をかけているが、「教えられない」と言われていることについて、ご理解をいただきたい。

〔質問〕「県から要請が来ているからやらなければならない」という態度は取れないものか伺う。

〔答弁〕【市長】法律により、人数しか把握できない状況のため、自宅療養者などに対し、市が直接、何かを支援するということは、現状では難しいことをご理解いただきたい。

何とか感染拡大防止に向け、全力を回していきたいと考えている。

部活動について

菊地 忠久



〔質問〕休日の部活動の、段階的な地域移行に向けた実践研究の成果と課題を伺う。

〔答弁〕「教育長」休日の部活動については、令和5年度から段階的に地域に移行していくことが国の方針である。

経験豊富な指導者により、質の高い指導が実現し、また、指導者同士の横のつながりから、他校との合同練習も行われている。

競技性の高い専門的指導の提供を行うことで、生徒の満足度は高く、地域部活動としての一定の価値を見いだすことができた。

また、教員の働き方改革は重要な課題であ

り、部活動も大きな要因の一つであるが、アンケートによると、半数の教員が「大幅に負担が軽減された」と回答している。

課題としては、指導者の確保が挙げられ、スポーツ協会、各競技団体のご理解、ご支援が不可欠である。

また、指導者の本業への副業申請許可に、時間を要したケースがあったことから、本事業の認知度の向上と、本業への依頼方法も今後の課題であると考える。

〔質問〕将来的には、平日においても部活動の地域移行を検討すべきと考える。

その受け皿の一つとして、総合型地域スポーツクラブが選択肢となり得る。

総合型地域スポーツ

クラブと部活動の地域移行の関わりについて所見を伺う。

〔答弁〕「教育長」今後、実践研究成果やノウハウを生かし、総合型地域スポーツクラブの設立促進を図っていく。

その主要事業の一つとして、地域部活動事業の運営が位置づけられることを目指したいと考える。

〔質問〕総合型地域スポーツクラブ設立に向けた検討状況を伺う。

〔答弁〕「教育長」令和4年度末までの創設を目標に、検討協議を加速していきたい。

実現可能な事業や体制等について検討を重ね、設立に向けた具体的な準備を進めたいと考える。

【その他の質問】

◎子ども家庭庁について

◎障害者手帳アプリについて

◎ゼロカーボンシティ宣言について

子どもの貧困について

佐藤 龍彦



〔質問〕最近の、子どもの貧困問題に対する認識について伺う。

〔答弁〕「市長」新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用情勢が不安定になり、収入が減少している世帯があると聞いている。

子どもの貧困は世帯の貧困でもあることから、生活資金などに困窮している場合は、福祉事務所に相談いただきたい。

〔質問〕本市において、子どもの貧困に該当する事例はあるのか。

〔答弁〕「保健福祉部長」子どもの貧困に該当するような事例は把握していない。

〔質問〕子どもの貧困に

対する課題を伺う。

〔答弁〕「保健福祉部長」本市ではそのような事例はないと考えているが、子どもの貧困問題は、相対的に学習環境がよいとは言えない場合もあり、受けた教育が受けられないことにより成績などの問題を抱え、さらに不安定な雇用などに結びつき、低収入になるなど、貧困の連鎖が懸念される。

〔質問〕本市が子どもの貧困に対し、実施している支援策を伺う。

〔答弁〕「保健福祉部長」白石市社会福祉協議会へ委託し、子どもの学習支援事業を実施している。

この事業には所得要件はなく、参加している子どもたちが貧困に陥っていないかどうか確認していないが、生活保護世

帯、児童扶養手当受給世帯、準要保護世帯の小中学生から高校生を対象に、週1回の学習支援などを実施している。

〔質問〕今後の本市の取り組みについて伺う。

〔答弁〕「市長」子どもの貧困問題は、社会的損失につながりかねない問題であることから、貧困を断ち切ることが必要である。

具体的には、社会福祉協議会の総合支援資金の貸し付けや、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業費などを活用しながら、生活を安定させた上で就職に結びつけていきたい。

【その他の質問】

◎インボイス制度について

◎東京電力福島第二原発にたまる処理水は安全とするチラシが学校に配布されていることについて

子育て支援事業について 他

佐藤 秀行



子から贈呈することはできないのか、見解を伺う。

〔質問〕子育て支援・多世代交流複合施設「こじゅうろうキッズランド」は、天候を気にせず安心して遊べる施設として、多くの方に利用いただいている。

市民に何かしらの助成があってもいいのではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕市民に対する助成については、今後の政策の中で検討する価値はあると考える。

〔質問〕子育て世帯への経済的負担を軽減するため、誕生祝い金を増額してもよいのではないか。

また、小学校入学祝い金について、第3子以降からではなく、第1

〔答弁〕〔教育長〕令和5年4月の開校を目指しており、児童・生徒に必要な力を育むための、特色ある教育課程をいかに創造していくかが課題である。

文部科学省などの助言等を参考にしながら準備を進めていきたい。

◎未来を拓く学校教育充実事業について

〔質問〕本市の小中学校教員のICT活用力(教員指導力)が高いレベルにあることについて、どのように受け止めているか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕大変誇らしいことだと思ってい

る。まさに現場の教員の、日頃からの頑張りのたまものであると受け止めていく。

今後、さらなる教員のICT活用力向上を後押ししていきたい。

〔その他の質問〕

◎学校教育・保育審議会事業について

〔質問〕不登校特別校について、整備の予定時期と課題を伺う。

〔答弁〕〔市長〕宮城県警、白石警察署、国土交通省、本市の交通安全担当課などが現地において、事故の状況説明や今後の事故防止対策の検討を行なった。

引き続き関係機関との連携を深めながら、交通安全対策に努める。

交通安全について 他

四 電 英 夫



昨年発生した死亡事故の検証と、再発防止対策について伺う。

〔答弁〕〔市長〕宮城県警、白石警察署、国土交通省、本市の交通安全担当課などが現地において、事故の状況説明や今後の事故防止対策の検討を行なった。

引き続き関係機関との連携を深めながら、交通安全対策に努める。

◎壽丸屋敷の改修について

〔質問〕東京の信金中央金庫は、企業版ふるさと納税で本市に1千万円を寄附された。

本市では、壽丸屋敷の改修費用に充てる計画であるが、内容を伺う。

〔答弁〕〔商工観光課長〕ブロック塀や木製の塀の撤去、植栽工事、母屋の玄関屋根工事、雨樋・畳

の取替えなどを予定している。

〔質問〕今後の運営について伺う。

〔答弁〕〔市長〕国の登録有形文化財に登録されている貴重な施設であることから、未永く保存しつつ、ホームページ、SNS、観光情報誌への掲載などにより、情報発信を強化し誘客を図りたい。

◎森林事業の振興について

〔質問〕昨年度が実施した、林業に関するアンケート調査の結果を踏まえ、今後の林業行政をどのように進めていくのか伺う。

〔答弁〕〔農林課長〕効率よく採算の取れる森林と、防災・減災機能の低下が懸念される未整備の森林の洗い出しを行なっていく。

国土の保全と、低炭素社会に貢献する森林の重要性から、林業を志望する若者や、知識技術の習得、技能向上を目指す就業者への研修を開始したい。

議員提案

定例会最終日(3月8日)、議員提案として次の決議書が上程され、採決の結果、全会一致で可決されました。

◎ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議(全文)

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、ウクライナの主権および領土の一体性を侵害し、国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なう暴挙である。このような武力による一方的な現状変更は断じて認められず、武力の行使を禁ずる国際法および国連憲章に対する重大な違反行為である。

また、ロシアのプーチン大統領は、今回の軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆するような発言をしているが、核の威力を背景に威嚇し、武力によりウクライナを侵略しようとするロシアの行為は、国際社会を脅かす行為であり、現在の国際社会では断じて容認できない。決してウクライナに、長崎、

広島と同じ悲劇を起してはならず、地球上に第三の戦争被爆地を生むことはあってはならない。

よって、本市議会は、ロシアに対し、核の威力を背景としたウクライナへの侵攻に強く抗議するとともに、ウクライナへの軍事侵攻を即時に中止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求める。

また、日本政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保及び我が国への影響対策について万全を尽くすとともに、今後、同様の事案が発生しないよう、国際秩序の再構築に取り組みことを求める。

6月定例会は、6月3日(金) 午前10:00開会予定です

インターネットで議会議中継や録画映像の視聴もできます。

2月定例会の中継・録画視聴者数 1,746人

※市内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月定例会の傍聴は中止いたしました。

◆◆◆ 令和3年 議会の活動状況 ◆◆◆

令和3年は、4回の定例会(2月・6月・9月・12月)と3回の臨時会(4月・8月・11月)が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	75日
臨時会	3回	3日

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	25日	特別委員会	予 算 審 査 5日
		特別委員会	決 算 審 査 2日
議会運営委員会	24日	特別委員会	第六次白石市総合計画審査 1日
常任委員会	7日	特別委員会	スマートインターチェンジ設置推進 2日
		特別委員会	議員定数・報酬検討 7日
		特別委員会	議会広報委員会 9日
常任委員会	5日	特別委員会	議会改革推進会議 4日
		特別委員会	政策企画調整会議 5日

◎提出議案の状況

[単位:件]

市長提案議案							計
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	
33	32	4	0	18	2	2	91

議員提案議案					計
条例	意見書	決議	その他	計	
0	2	0	2	4	

請願
1

◎議案等の議決状況

[単位:件]

原案可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	計
71	4	2	18	0	1	0	96

◎議会の傍聴者数

男	女	計
59人	11人	70人

議会広報委員会 委員

委員長	四 電	英 夫
副委員長	平 間	知 一
委員	高 子	秀 明
委員	佐 藤	龍 彦
委員	伊 藤	勝 美
委員	高 橋	鈍 齋
委員	大 森	貴 之
委員	森 角	建 人
委員	角 張	一 郎

3月16日に発生しました福島県沖を震源とする地震により被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。さて、本市では人口減少問題、財政問題など課題が山積しております。議会としましては、行政のチエック機能を果たし、第六次白石市総合計画に掲げる一人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち「しろいし」の実現に向けて、市民の皆さまの声が市の施策に反映されるよう、今年度も全力で組んでまいります。議会広報委員一同、限られた紙面ではありますが、議会活動を的確にお伝えするとともに、より開かれた議会となるよう、なお一層の努力を重ね、市民の皆さまにご愛読していただけるような紙面づくりを心がけてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

議会広報委員会

平 間 知 一

編集後記